

2024年度第1回リスクマネジャ公開セミナー

リスク学の考え方を身につける

～最近のリスク学の潮流を踏まえて～

一般公開

2024年7月27日(土) 14:00~17:00 開場13:30

本セミナーは、リスク学の基本的な考え方と現状について講演し、その今後について、リスク学会関係者と一般市民との対話を通じて共に考える連続講座です。

場所 大阪大学中之島センター セミナー室6E+F 参加費は無料

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>

オンラインは中継のみとなります。

参加申し込み

参加を希望される方は以下のフォームまたはQRコードでご登録ください。資料の共有や接続先のご案内は別途メールで行います。 <https://forms.gle/EeTHqqRgKYMa65dj9>



(1) 趣旨説明：本セミナーの趣旨と進め方について(5分)

(2) 話題1 「リスク学を知らないと人生で損をする」 米田 稔 京都大学 (60分)

2019年出版の「リスク学事典」で以下のように位置付けられたリスク学。リスク学は人生でなんとなく行っている意思決定に、科学的根拠を与えます。

“人文科学、自然科学、社会科学など多様な分野のリスクに対峙してきたリスク学は、それぞれの学問分野ごとに独自のリスク概念が取り上げられてきた経緯から、これまで単一の学問体系は存在していなかった。しかし、世界の相互接続性、相互依存性の高まりから異なるリスク同士の結合も例外ではなく、それらを横断的に俯瞰できる試みが求められるようになってきた。”

(3) 話題2 「新しい技術と向き合うために役に立つリスク学の知見」 岸本充生 大阪大学 (60分)

パーソナルデータの利活用やAIの社会実装は私たちの周りの様々なところで進んでいます。

それに伴い、様々な意図しない影響も顕在化しています。技術開発のスピードが速く、法規制が追い付かないこともしばしば起きています。事業者の観点、消費者の観点、政策立案者の観点から、リスク学のこれまでの知見がどのように役に立つのか、具体的な事例をもとに紹介します。

(4) 自由討議 竹田宜人 北海道大 他 (55分休憩含む)

講演内容やリスク学に対する皆さまの疑問や意見を踏まえ、今後の展開も含め、リスク学会関係者と自由討議を行います。

連絡先 リスク学会担当理事(北海道大学) 竹田 宜人 ytakeda@eng.hokudai.ac.jp